

令和4年度 第2回地域授業改善協議会<竹田教育事務所管内>

令和4年10月4日(火) 豊後大野市緒方公民館

各小中学校の教頭先生方を対象に「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた言語活動の充実」について研修を行いました。『探究的な学習』を実際に体験することで、そのプロセスや必要とされる技能について理解を深めました。

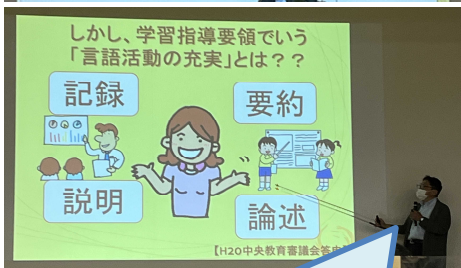
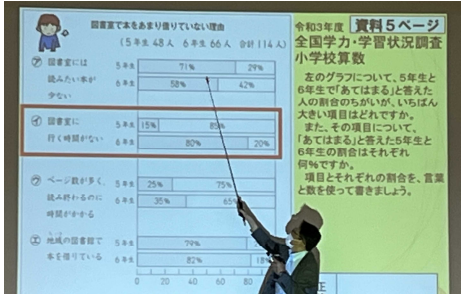
<研修内容>

講義・演習: 「主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動のあり方 ~ 探究的な学習を通して ~」

<講師> 竹田市教育委員会 横川 亨 指導主事

講義

「言語活動の充実」から
「主体的・対話的で深い学び」へ



国語科のみならず各教科等において、記録、要約、説明、論述といった言語活動を発達の段階に応じて行うことが重要です。

ワークショップ①

自分が読んだ文章について相手を意識して説明する(付箋に要点をメモしペアに伝える)



説明は、「隣の人に伝えるように」。



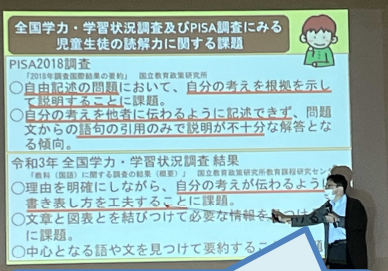
探究的な学習の展開に不可欠な「要約」の技能を体験しました。

ワークショップ②

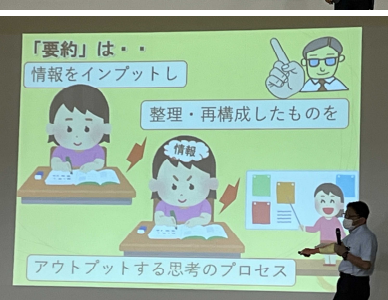
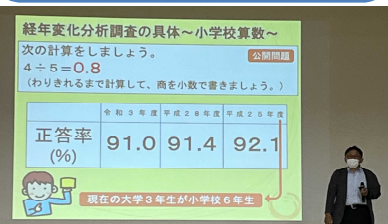
調べたことを4人グループで「新聞の形」にまとめる



「情報の取り出し」→「整理・分析」→「まとめ」の探究的なプロセスの展開を体験しました。



記述問題や、文章と図・表とを結びつけて必要な情報を見つけたり、要約したりする問題に課題があります。



(参加者の感想)

- ・実際に新聞を作る作業を通して行ったので、内容を要約・整理し新聞を協力して作る過程が具体的にわかりました。その作業の中で自然と対話も生まれ言語活動が活性化されました。付箋を使った要約の方法、データから新聞を作る流れなどは是非職員に伝えたいと思いました。
- ・グループで新聞を作り終わった後に、この活動は確かに「主体的・対話的で深い学びにつながる言語活動」だと感じました。要約するために、何度も読んだり考えたりと、主体的で対話的な活動であったし、深い学びがありました。校内で共有し、取り組みたいと思います。
- ・新聞づくりは究極の「要約」の学習だと改めて感じました。また、その作業を決められた時間で協働的に進める難しさや楽しさも味わうことができ、子どもたちに体験させたいと思いました。そのためにもまず、職員でワークショップに挑戦できたらと思います。